各務小学校区

各務原市青少年育成市民会議

◇基本方針

「家族や地域の絆を深め、地域の子は地域で守り育てる」という視点に立ち、青少年が地域の人々とふれあい、安心して生活できる地域づくりを目指します。

◇スローガン

創りあげよう「語らい」と「ふれあい」のある美しいまちを

上記の方針、スローガンの達成をめざし、地域から選出された長縄　博和委員長、左髙万知男推進指導員、左髙哲也推進指導員の3名の役員と、同じく地域から選出された27名の運営委員と小中学校の校長先生、さらに、町内から選出された56名の委員の方、合わせて86名の組織で、下記の重点活動を具体的に推進しています。



【5月12日　運営委員会】→

◇重点事業

1　通学路ふれあい事業…「通学路見まもり隊」の活動　※令和8年度は21名登録

12名の隊員＋役員＆PTA地区委員が参加。見まもり隊員が体育館へ入場した際に、子どもたちや保護者のあたたかい拍手で出迎えてもらえました。蟹江校長先生、長縄委員長、武内教育委員会指導主事の後、隊員自己紹介、児童代表の話の後、通学班ごとに隊員も一緒に下校しました。児童からは日頃の見守り活動に対するお礼や、1年間お世話になりますというお願いなどの話がありました。



2　青少年の社会参加促進事業…「中学生ふれコミ隊」の活動

令和8年度は、新規隊員24名、高校生2名の総勢58名（各務小校区15名）でスタートしました。

◆定例の清掃活動



【4月8日　新入生説明会】



【5月18日　結成式】



【6月13日　おがせ池周辺】



【8月8日　おがせ池周辺】



【7月11日　東郵便局前地下道】



【9月12日　鵜沼交番前地下道】

◆地域からの要請活動

地域の南町ホタルの会からの要請で、9名の中学生が堤防にある枯草を地域の方と堤防の上まで引き揚げる作業をしました。中学生は、次年度もたくさんのホタルが飛び交う姿を期待し、地域のホタルを守る気持ちで汗を流していました。



【8月23日(日) 大安寺川集草活動】→

◆地域での街頭啓発活動

7月は「青少年の非行・被害防止全国強調月間」。非行防止と青少年を取り巻く社会環境の浄化について理解と認識を深め、日常的に青少年の健全育成に取り組む機運の醸成を図る目的で、ザ・ビッグ、アピタ、イオンの3か所で啓発うちわの配付を行っています。今年は、2名のふれコミ隊員が参加。ザ・ビッグの入口で待機し、出てきたお客さんに「青少年育成です。お使いください。」と声をかけてうちわを手渡していました。



【7月4日(土)街頭啓発活動】→

3　家庭や地域の絆が深まる「語らい・ふれあい事業」

各町内で、夏祭りや秋祭り、親子や高齢者とのふれあい活動を行っています。自治会、社会福祉協議会、体育振興会、民生児童委員協議会、校区補導員、小中PTA役員等が連携して、地域での「つながり」づくりや、地域に愛着をもち、安心して生活できる土台づくりをしています。



【6月14日川崎団地　どんぐり広場の花植え】



【7月5日西北島・南北島　神社お籠り】



【7月18日おがせ第四　お囃子練習】



【8月22日おがせ第四　地域ふれあい広場】





【10月10日・11日　中組区　村国神社巫女練習・東組　村国座子供歌舞伎本番】